

港北区地域子育て支援拠点どろっぷは、主に0歳から就学前の子ども・妊婦とご家族、地域で子育てを応援している方のための施設です。

<https://www.kohoku-drop.jp/> Check our website for the schedule in English

開館日時：火曜日～土曜日（隔月1回日曜開館あり）9:30～16:00 祝日・年末年始・特別休館日あり



～子どもがまんなか、みんなで子育て～

各プログラムの詳細は
HPでご確認ください



あっぱっぱ

初めての子育てがスタートしたばかりの「家族」と赤ちゃんのためのプログラム。ゆったりとした時間を過ごせます。どろっぷ以外に、公立保育園でも開催しています。



助産師と みんなの知恵袋

母乳・ミルク・離乳食などはもちろん、産後の体調のことなどを助産師さんとみんなでお話しましょう。

横浜子育てパートナー

子育て中の家庭、妊娠中の方が子育ての情報を知りたい時、悩みを抱えている時など、気持ちに寄り添いながら、必要な情報提供や適切な支援機関を紹介します。皆さんが足を運びやすい場所でお会い出来たらと思い、商業施設や子育てサロンのご協力をいただき、出張相談会も毎月開催しています。スケジュールは、どろっぷHPやInstagram、ココアプリでチェックしてくださいね♪

横浜子育てパートナー専用電話番号
火曜～土曜 9:30～16:00
（匿名の電話相談可）
大倉山:045-547-1180
綱島:045-547-1182

新横浜 出張ひろば りぼん

0歳から就学前までのこども、妊婦さんとご家族向けに地域情報のご案内や交流ができる場です。

～会場～
*ダッドウェーラーニングセンター新横浜
*オルタナティブ生活館 5階「とびはね」

会場によって開催日時が異なります

両親教室

赤ちゃんを迎える準備をみんなで始めませんか？参加しやすい場所、またはオンラインを選択できます。港北区で出産する方が対象です。

「ななつから・・・」

港北区の訓練会とサークルからなる「ななつから・・・」はそれぞれの活動を共有し、情報交換しながら、課題や想いを発信しています。いつもの活動より少し枠を広げた参加型企画「ななつから・・・」プラスも開催しています。

ふたごちゃん みつごちゃんの会

多胎児家庭のためのプログラム。親子でのんびり過ごしながらおしゃべりをしましょう。

どろっぷ

父親とこどもが集まってゆる～く話す場です。初めての方も是非！

外国人のかぞくの ティータイム

はなしをしたい。
ともだちがほしい。
にほんでくらすがいこくの
ひとはあそびにきて
ください！

ひととき預かり

ひろばでの一時預かり。いつもの場所での預かりなので安心！預かり時間の前後もひろばで遊べます。

ほっぷっぱ

みんなでつくるあそびのプログラム。一緒に遊みましょう！どろっぷからは公園にも遊びに行きます。



ダイナミックひろば

新聞あそびなど身近なものをつかって、みんなもダイナミックに遊みましょう！

出産準備プログラム

妊婦さんや先輩家庭のリアルな生活を知り、産後に役立つヒントをもらえます。妊娠7～9か月頃の方、第一子の方も、第二・三子の方も、ぜひ！！保育園とのコラボ企画や、産前トークは第二子以降の回もあります。

こども誰でも通園制度

全てのこどもの育ちを応援する制度として、2024年8月から試行スタートしました。対象年齢は6か月～3歳未満、定員3名、水曜午前中に定期的な預かりをしています。

どろっぷみらいカフェ

どろっぷの「これから」について、利用者とスタッフが一体となって「みらい」を考え、作り出す場です。ひろばの環境整備や季節のイベントなどを企画しています。



どろっぷ





港北区地域子育て支援拠点どろっぴは、主に0歳から就学前の子ども・妊婦とご家族、地域で子育てを応援している方のための施設です。

<https://www.kohoku-drop.jp/> Check our website for the schedule in English

開館日時：火曜日～土曜日（隔月1回日曜開館あり）9:30～16:00 祝日・年末年始・特別休館日あり



地域行事が紡ぐ愛着と共助 ～世代を超えて心が通う場所～

港北区では地区ごとの伝統行事が活発で、特に秋には神社のお祭りである「祭礼」に加え、「健民祭」や「ウォーキング」など、こどもから高齢の方まで幅広い世代が交流できる機会が豊富です。

先日参加した「健民祭」では町内会自治会ごとに、こども、学生、大人までが一体となり汗を流し活動する、まさに地域の活力に満ち溢れた場でした。冒頭の小学生による堂々とした選手宣誓、競技で転んでも起き上がりひたむきに頑張るこどもたちを、司会の高校生や多様な参加者が応援で支える姿、そして中学生や大人が大縄跳びに挑戦する姿等は、こどもたちにとってロールモデルとなる姿であり、その姿勢や文化が自然と次世代に伝承されていくように感じました。

このような体験は、こども、親、そして地域の方々が「同じ場」を共有し、共に体感することに大きな意義があると感じています。多様な年齢層が混ざり合い、開かれた場として継続されているからこそ、健やかな地域づくりに繋がっていることを改めて実感しました。

健民祭をはじめとする地域行事の運営に携わる皆様は、

「こどもや親がどうしたら参加しやすく楽しめるのか、居心地良く過ごせるのか」

を常に話し合い、工夫し続けてくださっています。そのたゆまぬ研鑽と心遣いに心から感謝するとともに、見えない部分での支えこそが子育て中の家族の大きな安心感に繋がっていると感じています。

また、どろっぴでは施設内での避難訓練の際に、「港北区防災・区民生活マップ」を活用して利用家庭が居住地の防災拠点や避難経路を確認できるようにしています。職員が地域防災訓練に参加して学んだことを共有したり、家庭防災員の方々との防災グッズづくり、公園遊び団体との非常食持ち寄り会などを通じて、地域の知恵や工夫を取り入れながら、利用家庭が災害に対する共助の意識を高められるような取組にも努めています。

災害時や子育てで困りごとがあった際に、

「この人が身近にいてくれるから大丈夫」

「すぐに助けを求められる人が思い浮かぶ」

ことはとても重要だと思っています。子育て支援施策が充実する一方で、不安を感じる時にすぐに相談でき、生活全般に手を貸してくれる人や頼れる人が身近にいる実感こそが、「支えられ感」に繋がっていくとも感じています。

施設としては、乳幼児期から「子育ての協力者と思える存在」を地域の中で創っていけるような関わりとともに、学童期への繋がりをこれからも大切に紡いでいきたいと思っています。港北区の奥深い伝統と歴史が詰まった地域行事は、こどもたちが地域の原風景に触れる宝物のように価値のある場でもあるため、参加を通じてこどもたちが将来「ふるさと」だと心から思えるような愛着と誇りを育ててほしいと切に願っています。



発見と交流を深めたまち歩き

【どろっぴ施設長 田之畑 有美】

発行：2025年11月

港北区地域子育て支援拠点



どろっぴ
港北区大倉山3-57-3
TEL045-540-7420
東急東横線大倉山駅徒歩 10分
または市営バス 41系統
川向町行き『観音前』下車すぐ



横浜子育てサポートシステム 港北区支部事務局
TEL045-547-6422（直通）
大倉山どろっぴ 受付：火曜日～土曜日 9:00～17:00



どろっぴサテライト
港北区綱島東3-1-7
TEL045-633-1078
東急東横線綱島駅
北口徒歩 10分
東急新横浜線新綱島駅
北口徒歩 8分



港北区地域子育て支援拠点は、
認定NPO法人びーのびーのが、横浜市
港北区から受託して運営しています。

今年もボラリーグこうほくを開催しました ～活動期間 2025年7月22日～8月15日～

毎年開催しているボラリーグこうほく。受け入れ団体は81団体、参加人数は63名、延べ活動回数は150回となり、つどいの広場や地域ケアプラザ、公園などで活発な活動が行われました。

今年は港北区社会福祉協議会の研修室をお借りして、法人インターン生が中心となったオリエンテーションを行い、参加した学生は保育園の園長からのお話「こどもとのかかわり方やボランティアに対する心がまえ」などを真剣なまなざしで聞いており、とても頼もしく、学生のパワーを感じる1日となりました。

参加した学生からは、

「はじめは自信がなかったけど、自分のできることをしようと思えました。」
というような前向きな感想をもらえました。また、受け入れ団体から学生へも、
「とても前向きに取り組み、そこで色々な事に気づく姿がとても素晴らしいと感じました。これからいろいろな場所や人と出会って経験を積み重ねてください。」

と、あたたかいエールをいただきました。

今年の夏も厳しい暑さの中での活動でしたが、みなさん元気に活動してくださり、今年も無事に終える事ができました。学生だけでなく関わった大人も地域とのかかわりを実感し、一緒に成長できる良い機会になったと感じています。



オリエンテーションの様子

「はじめてさん」を迎える日 ～どろっぴみらいカフェの取り組み～

どろっぴみらいカフェでは、スタッフと親子と一緒に“どろっぴのこれから”を形にしています。大倉山での活動はInstagramで紹介、また、毎年12月に行われる「どろっぴデイズ」では、手遊びや読み聞かせなど、親子と一緒に楽しめる催しを企画など多岐にわたっています。

そんな中で生まれたのが、「はじめてさんウェルカムデー」。きっかけは、メンバー自身の経験でした。「どろっぴへ行ってみたいけれど、なかなかきっかけをつかめない」そんな思いに寄り添い、初めての方にも安心して来てもらえる場をつくりたいという願いから始まりました。

直前の「どろっぴデー」では、チラシと手作りキーホルダーを配布。キーホルダーはお世話になっている鶴沢さんの作品で、どろっぴのロゴとInstagramの二次元コード入り。チラシはみらいカフェのメンバーが制作しました。当日は抱っこひも体験や先輩家庭との交流もあり、あたたかな輪が広がりました。その時の「はじめてさん」は今ではすっかりどろっぴに馴染んでくれています。



← みらいカフェメンバーは活動中にバッジを付けています。見かけたら気軽に声をかけてください！

どろっぴを盛り上げてくれる「書」

どろっぴでは、「素敵でスーパーでスペシャルなボランティア活動」をしてくださっている方々を『Sボラさん』と呼んでいます。毎年行われるイベントのタイトル紙やお正月の「謹賀新年」の張り紙を書いてくださったり、こどもたちに書初めを教えてくださいくださる福木さんもその1人です。なんと御年83歳！

どろっぴに携わってくださり24年！今では福木さんの書がないとイベントも締まらず、どろっぴの活動を支え、盛り上げてくれています。いつも素敵な書をありがとうございます。



ダイナミックひろば ～おもいきり遊ぼう！～

どろっぴのひろばは、主に就学前までのこどもとその家族が過ごしている場ですが、4～5歳ともなるとひろばの玩具では満足できなくなり、駆け回ったり、ボールなどを投げたり、高いところに登ったりと行動が活発になります。

そんな、ちょっと大きなお友達がのびのびと遊べる時間が「ダイナミックひろば」です。新聞をビリビリと破ったり、思う存分ペイント遊びをしたり。からだを使って楽しく遊べるプログラムを用意しています。赤ちゃんや静かに過ごしたい方がゆっくりできるスペースありますので、どなたでも安心してお越しください。



〈どろっぴに関わる情報発信〉

どろっぴLINE通信

メールでお送りしている「港北区子育て支援メールニュース」やどろっぴ、認定NPO法人びーのびーのから活動内容や取組みなどの近況をLINEで受け取れます！



子育て応援 ココアプリ 「岩崎学園情報科学専門学校」と「港北区役所」と「港北区地域子育て支援拠点どろっぴ」が共同開発。情報を受け取りやすく、より便利に！毎週お知らせを配信♪インストールはストアで「ココアプリ」で検索！



ココマップ 近場で楽しめる情報が盛りだくさん！クチコミ情報の投稿もできます。スマホでも見やすくなりましたので是非チェックしてみてください♪

